令和6年度 第9回逢妻地域会議 会議録

■日時 令和7年1月22日(水) 午後6時30分～8時30分

■場所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

＜委員＞	都築 幸雄(会長)	岡部 千治(副会長)	加納 勝彦
	岡田 一	竹原田 力	杉浦 義元
	松崎 康則	松下 正治	西 澄弘
	岩内 輝義	今村 典生	千葉 洋
	柿本 敏光	鈴木 仁	
＜欠席者＞	天野 正男	原田 裕美	原田 朋実
＜事務局＞	松下 誠(地域支援課 副課長)	塚田 征弘(地域支援課 担当長)	
＜防災対策課＞	小出 博文(防災対策課 担当長)		

■次第

- 1 会長あいさつ
- 2 防災に関する勉強会について
- 3 逢妻地域の課題の解決策の検討について
 - (1) グループワーク
 - (2) 検討内容共有

■議事(要約)

1 会長あいさつ

先月の地域会議での協議のとおり、今日は市の防災対策課から豊田市の防災について話してもらう。今後、逢妻地域でできること、取り組みを検討するうえで参考にしていきたい。

2 防災に関する勉強会

豊田市防災対策課から、過去の災害、逢妻地域の災害リスク、共助の取組についてスライドを使用して説明があった。

質問：水を備蓄していない人の話を聞くと、何かあっても水道から水が出てくると思っている人が結構いる。豊田市の水道管の耐震化は何%くらいか。

回答：承知していないため、後日回答する。

質問：地図上でメッシュ状に震度予測が出されているが、何を根拠に算出しているか

回答：愛知県がボーリングを含めた調査を行っており算出しているが、あくまで予測。

質問：三河大地震(昭和20年)の際の被害状況が参考になるのではないか

回答：古くて資料もあまりなく、詳細を調べ切れていない。

質問：備蓄品を色分けして識別し、保管すると保管場所がわかりやすいのではないか。

回答：自主防災会に備蓄品の補助金を出している。地域で備蓄する際に工夫していただけるとよいと思う。

質問：能登の支援に行き、実際に地域で取り組むとよいと思ったことはなにか。

回答：水を中心としたライフラインが止まることが大変だと感じた。トイレや電気が使えなくなってしまうので、備えが肝心と感じた。

3 逢妻地域の課題の解決策の検討について

(1)(2) グループワークについて

3グループに分かれ、今回の勉強会を踏まえ、前回までのグループワークで出たアイデアを具体化・追加できることがあるか。その他に地域で取り組んでみるとよいことはあるかについて検討した。

(参考)

逢妻地域の課題

住民の防災意識が低く、備えができていない。防災訓練の参加率が低い。

めざす姿

住民の防災意識が高く、災害時に適切な行動をとることができる。

各グループから出た主な意見は以下のとおり。

<A グループ>

防災訓練時の工夫

- ・足湯、炊き出し
- ・実際に黄色いタオルを使った訓練
- ・地域のスーパー等に協力してもらい、駐車場等で車中泊
- ・防災キャンプ、子どもたちに体験してもらう

持出品のチェックリスト作成・配布

発災時の状況をチラシ等で配布し、知ってもらう

<B グループ>

防災訓練時の工夫

・ライフラインが止まった想定で、トイレ、炊き出しによる食事、簡易ベッド体験
逢妻地区の防災の日を設定

・地域内で一斉に防災訓練を実施し、自治区間で情報共有
高齢者を中心に家具固定など耐震対策

<C グループ>

小学校と合同防災訓練の実施

- ・道路状況の確認、炊き出し訓練

指定避難場所で住民による避難所運営訓練

●令和6年度 第10回逢妻地域会議

日時：令和7年2月19日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館 多目的ホール